

事業名		景観形成推進						事業コード	1177005	計画コード	12-1-1		
款	08	土木費			項	03	都市計画費			目	01	都市計画総務費	
所属名(部局・課)		建設部				都市整備課				担当名	計画担当		
施策		12-1	良好な景観形成の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	市民、事業者
意図・目的	良好な景観を守り、育て、創り、「まちに愛着を抱き、誇りに感じる“都心に近い緑豊かなふるさと”景観づくり」の実現を目指す。
活動概要	景観審議会の運営等景観形成の推進に係る業務を行う。

2. 事業の実績

活動実績		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
	①	景観重要建造物及び景観重要樹木の指定件数		件	2	0	0	0	0	0	
	②	景観審議会		回	1	1	0	1	1	1	
	③										
	④										
	⑤										
	費用	事業費	予算額		千円	184	58	58		30	不用額
			決算額		千円	150	27	0			58
			財源内訳	一般財源		千円	150	27		0	執行率
特定財源(国県補助、利用者負担等)				千円	0	0	0	0.0%			
成果の説明	●景観重要建造物及び景観重要樹木の指定は未実施。 ●景観審議会は未実施。										

3. 事業の課題

課題	景観条例・屋外広告物条例に関する情報収集を行い、景観計画の変更を実施する方法を検討することが望まれる。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	景観形成は、長期的視点に立ち目標設定に向けた取り組みを進めべきものであり、継続的に景観条例、屋外広告物条例、景観計画に関する課題を審議会委員と共有して取り組むことが重要である

事業名		空家等対策業務						事業コード	1177007	計画コード	12-1-2		
款	08	土木費			項	03	都市計画費			目	01	都市計画総務費	
所属名(部局・課)		建設部			都市整備課					担当名	計画担当		
施策		12-1	良好な景観形成の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	市内の空家等
意図・目的	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に影響を及ぼしていることに対して、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与することを目指す。
活動概要	空家等対策協議会の運営等、空家等対策に係る業務を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	相続管理人の選任裁判申立業務	件	0	0	1	1	－	－	
	②	空家等実態調査業務	式	0	0	1	1	0	0	
	③	空家等対策協議会	回			－	－	3	1	
	④	空家等対策計画策定	式			－	－	1	－	
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	0	0	6,483		8,813	不用額
		決算額		千円	0	0	6,479			4
		財源内訳	一般財源	千円	0	0	3,106			執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	0	0	3,373			99.9%
成果の説明	●令和4年度の活動実績は以下の通り。 相続管理人の選任裁判申立業務 1件 空家等実態調査業務 1式									

3. 事業の課題

課題	令和4年度では相続管理人申立裁判業務、空家等実態調査業務を行った。今後については、空家等対策協議会の設置・空家等対策計画策定を行い、和光市の空家等対策業務の方針を検討することが必要である。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	空家等対策業務は、和光市の空家等実態調査結果や空家等に関する課題を踏まえて、空家等対策協議の設置や空家等対策計画の策定を行う必要があり、継続的に空家等に関する課題を空家等対策協議会と共有して取り組むことが重要である

事業名			文化財施設管理運営						事業コード		1218002		計画コード		12-2-1			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	01	社会教育総務費				
所属名(部局・課)			教育委員会				生涯学習課				担当名		文化財保護担当					
施策			12-2		歴史的文化資源の保護・活用													

1. 事業の概要

事業の対象	市民・文化財保存庫・歴史資料室
意図・目的	文化財に対する理解を深め、文化財を大切にする気持ちの高揚を図る。
活動概要	市民が文化財に触れ、地域の歴史を学ぶことができるように、歴史資料室(埋蔵文化財整理室)と文化財保存庫を維持管理し、市民の文化財を保存するとともに定期的に公開する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	文化財保存庫の点検	回	36	36	36	36	36	36		
	②	歴史資料室・文化財保存庫見学者	人	6	25	21	100	100	100		
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	649	642	701		2,981	不用額	
		決算額		千円	446	592	471			230	
		財源内訳	一般財源		千円	446	592		471		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		67.2%
成果の説明	文化財保存庫の点検を月に2～4回程度行っている。 令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、おとどけ講座での文化財保存庫の見学は実施しなかったが、保存庫等で保管している遺物を講座で実際にみてもらうなどの形で公開をした。 南公民館の歴史講座の一環で令和5年3月に保存庫の見学を行った。										

3. 事業の課題

課題	文化財保存庫に収蔵している資料が多く、収容スペースをオーバーしての保管となっており、一般見学の際などには注意を要する。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	施設の老朽化や、保存庫の収容が限界になってきており、展示兼保存ができる施設の検討が必要となっている。

事業名		文化財保護						事業コード	1218005		計画コード	12-2-2			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	01	社会教育総務費	
所属名(部局・課)		教育委員会				生涯学習課				担当名		文化財保護担当			
施策		12-2	歴史的文化資源の保護・活用												

1. 事業の概要

事業の対象	市民、文化財
意図・目的	郷土の歴史文化を守り、また広める。
活動概要	埋蔵文化財をはじめとする文化財を調査・保存し、調査報告書を作成する。また、史跡整備に関する検討、文化財や歴史に関する展示会や遺跡見学会、講座を開催する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	文化財展示会参加者数	%	0	0	0	80	1,000	80		
	②	文化財講座参加者数	%	0	21	11	80	200	80		
	③	指定文化財の数(国・県・市)	件	16	16	16	19	19	21		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	11,648	12,936	14,765		18,465	不用額	
		決算額		千円	10,098	10,645	13,462			1,303	
		財源内訳	一般財源		千円	10,098	10,196		12,878		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	449		584		91.2%
成果の説明	○遺跡調査報告書『埼玉県和光市市内遺跡発掘調査報告書26』(越之上遺跡第3次)を発行した。 A4判300部 ○和光市文化財調査報告書第1集『和光市の富士塚』を発行した A4判100部 ○指定文化財 調査・検討に時間を要するが、着実に進めている。市内3基の富士塚の市指定文化財指定に向けて文化財保護委員会内で継続して審議をいただいている。 ※指定文化財の数は、市内に所在する国・県・市のいずれかの指定を受けた文化財の数を示している。 ○展示会・講座等 おとどけ講座等により文化財等の説明を行ったほか、以下のとおり発掘現場公開を開催した。 ■発掘現場公開 日程 8/30 午前10時～11時30分 場所 午王山遺跡 参加者 11名 ○その他 文化財保護担当による主催講座以外のおとどけ講座等の実績は以下のとおりである。 ・実施回数:10回 ・のべ参加者数:230名										

3. 事業の課題

課題	指定・未指定に関わらず、文化財的価値のあるものについで保存・活用の検討を計画的に進めていく必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	市内の文化財等の調査を引き続き行い、保存とともに、その成果を着実に市民に還元していく。

事業名		新倉ふるさと民家園管理運営						事業コード	1218006	計画コード	12-2-3		
款	10	教育費			項	04	社会教育費			目	01	社会教育総務費	
所属名(部局・課)		教育委員会				生涯学習課				担当名	文化財保護担当		
施策		12-2	歴史的文化資源の保護・活用										

1. 事業の概要

事業の対象	市内、市外の人
意図・目的	文化財を大切にする気持ちを育む。また、伝統文化を伝承する。
活動概要	①市指定文化財である古民家を市民に広く公開する。 ②古民家の保存・公開のための日常管理を行う。 ③市内・外の来園者に対し伝統行事や遊びを開催する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	公開日数	日	150	260	288	288	288	288	
	②	伝統季節行事・伝統文化企画	回	15	26	26	27	27	27	
	③	来園者数	人	5,793	7,821	9,847	15,000	15,000	15,000	
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	8,721	8,486	9,077		8,945	不用額
		決算額		千円	8,610	8,277	8,991		86	
		財源内訳	一般財源		千円	8,610	8,277			8,991
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0			0
成果の説明	市指定文化財である「旧富岡家住宅」の保存を第一に考え一般公開を行っている。 伝統行事や季節行事などを行っており、市民のほか周辺市区の方にも親しまれ、リピーターも多く、令和元年までは年間1万5千人前後の来園者があった。新型コロナウイルス感染症の影響で休園もあり、令和2年度、3年度と来園者が減少していたが、令和4年度は収束の兆しが見え始めたことなどから、来園者が徐々に回復してきている。									

3. 事業の課題

課題	開園から15年以上経過し、施設内の老朽化が進んでいるため計画的に修繕等を行う必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	指定文化財の「旧富岡家住宅」の保存と活用を市民との協働で進めていく。

事業名		午王山遺跡史跡整備						事業コード	1218008		計画コード	12-2-4			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	01	社会教育総務費	
所属名(部局・課)		教育委員会				生涯学習課				担当名		文化財保護担当			
施策		12-2	歴史的文化資源の保護・活用												

1. 事業の概要

事業の対象	地権者・市民・市外の人
意図・目的	国史跡指定を受けた午王山遺跡について、史跡公園としての保存及び活用に向けた取組を行う。
活動概要	弥生時代の環濠集落遺跡として埼玉県内初の国史跡指定を受けた午王山遺跡について、史跡公園としての保存及び活用に向けた取組を進める。 具体的には令和2年度から令和3年度の2か年をかけて策定した『史跡午王山遺跡保存活用計画』に基づき、公有地化の推進や史跡の追加指定をはじめ、保存・活用・整備・運営体制の整備に向けた各種事業を実施する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	史跡公有地化	㎡	1,888	373	149	149	1,082	960	
	②	保存活用計画策定委員会・調査指導委員会	回	4	4	3	3	3	3	
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	310,712	79,314	65,020		160,053	不用額
		決算額		千円	310,500	77,437	64,947		73	
		財源内訳	一般財源		千円	63,862	3,464		2,754	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	246,638	73,973		62,193	99.9%
成果の説明	【史跡指定地】 生涯学習課は午王山遺跡についてこれまでの調査成果を総括し、その学術的な価値を明らかにし、今後の保存と活用の基本情報とするため平成30年度から2か年度をかけて「総括報告書策定委員会」を開催し、『午王山遺跡総括報告書』を作成した。 午王山遺跡は『午王山遺跡総括報告書』で明らかとなった特徴や重要性を踏まえ、令和2年3月10日、官報の告示をもって正式に国指定の史跡指定を受けた。また、その後も新たに地権者の同意を得られた土地について、令和3年3月26日、令和4年11月10日に追加指定を受けている。 今後も地権者の意向等を踏まえながら、史跡指定地の拡充をはかる。									
	【史跡指定地の公有地化】 地権者の意向を確認しながら、史跡保存のための公有地化を推進する。 令和4年度は2筆(約149.79㎡)の史跡指定地を公有地化した。									
	【保存活用計画策定委員会】 午王山遺跡を恒久的に保存・活用するための基本的な計画として令和2年度から令和3年度にかけて『史跡午王山遺跡保存活用計画』を策定した。									
【備考】 ・活動実績①の「史跡の公有地化」における実績値・目標値の面積は単年度の面積を記載している。										

3. 事業の課題

課題	史跡指定地の整備のためにはまとまった公有地化が必要であるが、地権者の都合もあり公有地化には時間を要する。 また、国史跡としての午王山遺跡を保存・活用・整備するためには既存の体制では不十分であり、用地取得・整備の担当職員を配置する必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	史跡の保存・活用・整備に当たり万全の体制を構築し、午王山遺跡の史跡整備を着実に進めていく。

事業名		和光市史平成版編さん業務						事業コード	1218011		計画コード	12-2-5		
款	10	教育費			項	04	社会教育費			目	01	社会教育総務費		
所属名(部局・課)		教育委員会				生涯学習課				担当名		文化財保護担当		
施策		12-2	歴史的文化資源の保護・活用											

1. 事業の概要

事業の対象	市内・市外の人
意図・目的	郷土の歴史・文化を記録として守り伝え郷土への愛着意識を醸成する。
活動概要	和光市史(続編・仮称)の編さんを行い、続編として、新たな和光市史を刊行する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	和光市史編さん委員会	世帯	3	5	5	6	—	—		
	②										
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	10,703	14,480	13,781		0	不用額	
		決算額		千円	7,239	14,275	13,620			161	
		財源内訳	一般財源		千円	7,239	14,275		13,620		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		98.8%
成果の説明	平成30年度に和光市史編さん準備委員会委員として5名を委嘱し、和光市史編さん事業の目的、市史の名称、編さん対象期間、編さん事業の基本方針、事業計画、編さんの基本方針、成果物の決定、市史編さん事業体制、歴史的資源の取扱い等を決定した。 また、和光市史編さん委員会の設置要綱案、和光市史編さん公募型企画提案(プロポーザル)実施要領、市史の章立て及び項目立て、市民が所有する古い資料の提供を求めること、和光市史編さん委員会委員の公募実施要領を定めることを決定し、令和元年度に発足する和光市史編さん委員会の準備行為をした。 令和元年度から令和4年度にかけて、和光市史編さん委員会による調査審議を経て、令和5年3月に『和光市史 平成版』を発行した。 ・書名:『和光市史 平成版』 ・発行部数:1,200部										

3. 事業の課題

課題	
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☒ 終了(廃止・休止)
	発行が完了したので事業は終了する。完成した市史については今後、文化財保護事業において市民への啓発等に活用していく。

事業名		デジタルミュージアム運営						事業コード		1219010		計画コード		12-2-6			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	01	社会教育総務費			
所属名(部局・課)		教育委員会				生涯学習課				担当名		文化財保護担当					
施策		12-2		歴史的文化資源の保護・活用													

1. 事業の概要

事業の対象	市民、市外の人
意図・目的	デジタルミュージアムが市民や市外の人に広く周知されているとともに、市民の文化財への関心の高揚や歴史学習のひとつとして活用されるようにする。
活動概要	情報発信ツールとしてデジタルミュージアムを運営し、和光市の歴史や文化財をPRする。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	デジタルミュージアム閲覧者数	人	22,002	—	11,386	23,000	23,000	23,000	
	②									
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	2,570	471	471		471	不用額
		決算額		千円	2,570	470	470		1	
		財源内訳	一般財源		千円	2,570	470		470	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	99.8%
成果の説明	文化財保存庫等で保管している民具等の写真を掲載したり、午王山遺跡総括報告書や展示会等の情報を公開している。									
	令和4年度費用内訳 ・保守点検業務 470,360円									

3. 事業の課題

課題	システムの不具合などについて、適宜対応する必要がある。閲覧者数が伸び悩んでいるため、より多くの方に閲覧してもらえるように、魅力ある内容等を検討していく必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	文化財保存庫の資料整理と連動し、新資料の追加を行いながら進める。

事業名		文化財調査						事業コード	1232001	計画コード	12-2-7		
款	10	教育費			項	04	社会教育費			目	04	文化財調査費	
所属名(部局・課)		教育委員会				生涯学習課				担当名		文化財保護担当	
施策		12-2	歴史的文化資源の保護・活用										

1. 事業の概要

事業の対象	地権者・事業主
意図・目的	文化財を保護するために調査、記録保存をする。
活動概要	文化財という国民共有の財産の調査を行い、記録保存を行う。 また、開発行為者の申請に基づき、失われる遺跡を保存する代替措置として、調査(埋蔵文化財包蔵地内の確認調査(試掘調査)及び埋蔵文化財包蔵地内の発掘調査(記録保存))を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	確認調査件数(試掘件数)	件	22	40	29	25	25	25	
	②	発掘件数	件	3	4	4	3	3	3	
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	3,803	2,615	3,743		3,316	不用額
		決算額		千円	3,286	2,573	3,593		150	
		財源内訳	一般財源		千円	1,518	1,222		1,897	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	1,768	1,351		1,696	96.0%
成果の説明	市内の埋蔵文化財包蔵地を中心として確認調査や本発掘調査を随時進めていることで、各埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の内容がわかりつつある。また、調査の際は、遺跡調査中の看板表示を行い、周辺の市民に埋蔵文化財包蔵地の周知と埋蔵文化財に対する意識の向上を図っている。令和4年度は、確認調査を29件(工事立会も含む)、本発掘調査は以下のとおり4件行った。									
	発掘調査 ・ 西越後山遺跡 第3次 (共同住宅建設のため)→事業主負担 ・ 仏ノ木遺跡 第8次 (宅地造成のため)→事業主負担 ・ 午王山遺跡 第16次 (保存目的の確認調査のため)→公費負担 ・ 花ノ木遺跡 第16次 (個人住宅建設のため)→公費負担									

3. 事業の課題

課題	発掘調査は、営利目的等の場合、費用が事業主負担になるため、十分に説明をする必要がある。 公費、事業主負担に限らず、発掘調査を行う際は市職員が発掘担当者として現場を指導するが、その人員が不足していることが課題である。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	発掘調査については、正確な調査と記録保存を心掛け、このまま進める。

事業名		緑化普及啓発活動					事業コード	1186001	計画コード	12-3-1				
款	02	総務費			項	07	生活環境費				目	04	緑化対策費	
所属名(部局・課)		建設部			公園みどり課					担当名	公園緑地担当			
施策		12-3	湧水・緑地の保全と再生											

1. 事業の概要

事業の対象	緑化まつり来場者 展示会参加者 体験教室参加者
意図・目的	緑豊かなまちづくりを推進することにより、市民の緑化に対する意識が高揚している。
活動概要	広く緑化意識の高揚を図るため、さつき盆栽・山野草の展示会を実施するとともに、緑の募金に協力していただいた方に苗木の配布を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	苗木配布数(緑の募金)	本	0	0	410	500	500	500	
	②									
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	128	32	220		227	不用額
		決算額		千円	126	31	217		3	
		財源内訳	一般財源		千円	126	31		217	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	98.6%
成果の説明	わこらぼまつり同時開催として、緑化まつりを継承した、「みどりの魅力発見エリア」としてリニューアル開催され、苗木配布や盆栽・山野草の展示、盆栽の手入れ実演、みどりのパートナー活動発表会・交流会、環境パネル展、令和3年度郷土緑化運動ポスター原画コンクール入選者展示などを行い、市民まつりでは、苗木配布、保存樹木の葉のしおりの千本引きなどを開催することができた。									
	令和4年度 緑の募金 わこらぼまつり 31,448円 市民まつり 69,674円 庁内募金 45,908円 合 計 147,030円									

3. 事業の課題

課題	市民活動推進課の「みんなのわこらぼまつり」をメインとし、緑化ブース「みどりの魅力発見エリア」で開催しましたが、団体の高齢化等により作品展示も減ってきていることから、今後を考えると緑化に特化したまつり啓発だけでなく別の方法も検討が必要である。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	今後は、緑の作品展示や写真及び募金、体験講座等の実施方法等について、あり方を検討していく必要がある。

事業名		緑化助成金					事業コード	1187001	計画コード	12-3-2				
款	02	総務費			項	07	生活環境費				目	04	緑化対策費	
所属名(部局・課)		建設部			公園みどり課					担当名	公園緑地担当			
施策		12-3	湧水・緑地の保全と再生											

1. 事業の概要

事業の対象	保存樹木の所有者
意図・目的	市街地の貴重な緑を保全する。
活動概要	緑の保護および緑化推進に関する条例に基づき、保存樹木について4,000円／本の助成を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	保存樹木本数	本	529	508	506	508	508	508	
	②									
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	2,260	1,800	1,722		1,747	不用額
		決算額		千円	1,763	1,700	1,695		27	
		財源内訳	一般財源		千円	1,763	1,700		1,695	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	98.4%
成果の説明	保存樹木については、6本の樹木が新規指定され、植栽管理計画、枯死、樹勢衰退等のため、8本の樹木が指定解除後に伐採された。									

3. 事業の課題

課題	宅地開発に伴い高木の安全確保や管理が難しいことにより、保存樹木が伐採され、保存樹木は減少傾向にあることから、保存樹木の維持、保全等を図る必要がある一方で、保存樹木の助成制度自体の見直しが必要である。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	保存樹木の適正管理及び質の向上を図るため、助成制度の見直しを検討していく必要がある。

事業名		湧水・緑地保全						事業コード		1182005		計画コード		12-3-3			
款	08	土木費				項	03	都市計画費				目	04	公園費			
所属名(部局・課)		建設部				公園みどり課						担当名		公園緑地担当			
施策		12-3		湧水・緑地の保全と再生													

1. 事業の概要

事業の対象	ふれあいの森利用者 ふれあいの森・特別緑地保全地区のボランティア
意図・目的	湧水・緑地を保全することにより、安全で快適な都市環境を創造し、市民に潤いと安らぎのある住環境を提供する。
活動概要	都市緑地法に基づく市民緑地、特別緑地保全地区の維持・管理を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	緑地面積	m ²	27,876	27,876	23,114	23,114	23,114	23,114		
	②	市民協働事業従事者	人	572	659	1,056	1,100	1,100	1,100		
	③	公有地化した緑地数	箇所	7	0	0	1	2	3		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	107	109	13,399		14,365	不用額	
		決算額		千円	106	106	12,068			1,331	
		財源内訳	一般財源		千円	103	106		12,068		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		90.1%
成果の説明	緑地の保全策については、都市緑地法に基づく特別緑地保全地区は4ヶ所、市民緑地は6ヶ所で推進しており、このうち、4箇所については、市民協働型委託事業を実施している。他にその他の緑地として4箇所、保全地区1箇所の緑地保全を推進している。										

3. 事業の課題

課題	開発行為により湧水・緑地が徐々に減少しているため、制度等の活用により保全を行っていく必要がある。また、民有緑地の公有地については、特定財源の確保等、財政的な側面が事業の進捗に影響を及ぼしている。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	市有地の開発が進む中、緑地保全の必要性は益々高くなってきていることから、この事業を引き続き推進し、緑地保全を進めていく必要がある。

事業名		緑地整備						事業コード		1182006		計画コード		12-3-4			
款	08	土木費				項	03	都市計画費				目	04	公園費			
所属名(部局・課)		建設部				公園みどり課						担当名		公園緑地担当			
施策		12-3		湧水・緑地の保全と再生													

1. 事業の概要

事業の対象	市民緑地などを利用する市民
意図・目的	市民緑地及び特別緑地保全地区等の緑地が将来にわたり安全で快適に利用されているようにする。
活動概要	市民緑地、特別緑地保全地区等の緑地の整備を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	緑地整備件数	件	2	2	3	3	4	5		
	②	緑地・水辺空間の整備面積	m ²	17,810	17,810	18,532	18,532	18,532	18,532		
	③	市民緑地数	箇所	6	6	6	6	6	6		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	91,699	37,490	42,971		197,510	不用額	
		決算額		千円	91,699	5,764	39,108			3,863	
		財源内訳	一般財源		千円	99	4,801		28,070		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	91,600	963		11,038		91.0%
成果の説明	緑越明許費において、牛房八雲台特別緑地保全地区土砂崩落防止工事完了と大坂ふれあいの森測量業務を行い、大坂ふれあいの森土地購入のため、安全対策工事設計業務と不動産鑑定業務を実施した。										

3. 事業の課題

課題	近年の土地開発により緑地が減少していく中で、現存する緑地を保全し新たに緑地を創出する必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	緑地保全の財源確保のため、新たな財源確保の手段について検討していく。

事業名		広沢複合施設整備						事業コード		1020504		計画コード		12-4-1			
款	02	総務費				項	01	総務管理費				目	08	企画費			
所属名(部局・課)		企画部				資産戦略課						担当名		計画推進担当			
施策		12-4		市の特色を生かした地域ブランドの確立													

1. 事業の概要

事業の対象	広沢複合施設
意図・目的	既存児童センターの建て替え事業をきっかけとして、国有地を活用し、児童センター、市民プール、学童クラブ、保健センター、児童発達支援センター並びに認定こども園等を備えた複合施設を整備し、にぎわい創出及び多世代交流拠点の充実を図る。
活動概要	総合児童センター及び周辺公共施設の再整備に係る複合施設を整備する。複合施設を中心として、民間事業者やNPO等と連携したにぎわい創出事業を実施し、交流拠点を形成する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	コレクティブインパクト・リスト掲載者数	者	44	44	40	50	50	50		
	②	イベント回数	回	－	6	18	14	14	14		
	③	来場者数	人	－	172,168	710,616	1,000,000	1,000,000	1,000,000		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	578,214	1,624,068	92,074		91,063	不用額	
		決算額		千円	577,886	1,576,554	91,497			577	
		財源内訳	一般財源		千円	175,471	456,441		91,050		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	402,415	1,120,113		447		99.4%
成果の説明	平成31年度「株式会社和光市広沢PFI」と和光市広沢複合施設整備・運営事業事業契約を締結した。 令和元年度に広沢学童クラブ、令和2年度に保健センター、令和3年度に総合児童センター・市民プール、児童発達支援センター、認定こども園、民間温浴施設を供用開始し、広沢複合施設が全面オープンした。										
	令和4年度実施事業について										
	■イベント回数内訳										
	プチ子供服&絵本のリサイクル会		6	回							
	わびあmamaマルシェ		3	回							
	わびあ未来系講演会		4	回							
	わびあ夏まつり		1	回							
	わびあHADOカップ		1	回							
	わびあ未来イベント		1	回							
	クラピア植樹イベント		1	回							
	TAKIBI TERACO		1	回							
	■来場者数内訳										
総合児童センター		178,539	人								
市民プール		71,231	人								
おふろの王様		422,666	人								
わいわい広場		36,611	人								
コワーキングスペース		1,569	人								

3. 事業の課題

課題	運営協議を進め、官民のパートナーシップにより市民サービスの更なる向上を図る。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	広沢複合施設を核とした広沢地区エリアマネジメントを推進する。

事業名		地域ブランド推進					事業コード	1165020	計画コード	12-4-2			
款	07	商工費			項	01	商工費			目	02	商工業振興費	
所属名(部局・課)		市民環境部				産業支援課				担当名	産業育成支援担当		
施策		12-4	市の特色を生かした地域ブランドの確立										

1. 事業の概要

事業の対象	市民・市外在住者(観光客)
意図・目的	市民が和光市の地域資源を発見し、地域ブランドが出来上がることで、市に愛着を持つ。また、市外在住者が、和光市に興味を持ち観光に来る。
活動概要	地域ブランドを開発するために情報収集を行い、地域ブランドの創出や認定を実施する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	ブランド認定数	件	14	16	17	18	20	20	
	②	ブランド認定品取扱店	件	29	31	41	38	40	40	
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	220	220	172		117	不用額
		決算額		千円	75	55	124		48	
		財源内訳	一般財源		千円	75	55		124	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	72.1%
成果の説明	和光ブランド認定推進委員会を3回開催									
	・認定期間満了に伴う更新対象5品目のうち4品目を更新認定(1件は更新申請なし)									
	・2品目の新規認定									

3. 事業の課題

課題	ブランド品の新たな宣伝方法、販路等の拡充を検討する必要がある。
----	---------------------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	商工会と協力し,新たに和光ブランドとなり得る商品を発掘していく。

事業名		表彰業務					事業コード	1007001	計画コード	12-5-1			
款	02	総務費			項	01	総務管理費			目	02	秘書費	
所属名(部局・課)		企画部			秘書広報課				担当名	秘書担当			
施策		12-5	効果的なシティプロモーションの展開										

1. 事業の概要

事業の対象	市民、市内団体
意図・目的	多大なご功績をあげられた方々に表彰させていただき、市の発展向上に資することを目的とする。
活動概要	市行政及び教育の振興に協力し、顕著な業績があり、他の模範として推奨に値する者を表彰する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	和光市表彰受賞件数	件	30	38	15	30	30	30		
	②	市民栄誉賞受賞件数	件		3	0	0	0	0		
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円		426	866		494	不用額	
		決算額		千円		301	163			703	
		財源内訳	一般財源		千円		301		163		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円		0		0		18.8%
成果の説明	1. 和光市表彰 令和4年度については、15名の表彰を行った。 (1)自治功労 7名 (2)スポーツ功労 2名 (3)社会福祉功労 5名 (4)消防功労 1名 2. 市民栄誉賞 対象者なし										

3. 事業の課題

課題	表彰基準から表彰対象者に該当するのわかりづらい要件があることから、対象要件について例示や見直しの検討が必要である。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	表彰対象者に漏れが生じないよう各課と連携し、表彰候補者の洗い出しを行う。

事業名		広報活動推進					事業コード	1008002	計画コード	12-5-2		
款	02	総務費			項	01	総務管理費		目	03	広報広聴費	
所属名(部局・課)		企画部			秘書広報課				担当名	広報広聴担当		
施策		12-5	効果的なシティプロモーションの展開									

1. 事業の概要

事業の対象	全市民
意図・目的	市民に行政情報を広く伝える。また、行政情報を求めている市民が、必要なときに情報を入手できる環境を整える。
活動概要	広報紙を発行し、毎月1回、市内の全世帯・全事業所に配布する。また、ホームページを運営し、市内外に向けて情報発信をする。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	広報紙発行部数(月平均)	部	43,517	43,408	43,683	44,500	45,000	45,500	
	②	広報紙配布部数(月平均)	部	42,539	42,249	42,695	43,500	44,000	44,500	
	③	ホームページ総頁数(年度末)	頁	5,298	5,867	5,887	6,000	6,000	4,000	
	④	ホームページアクセス数(1箇月平均回数)	回	403,755	394,167	385,773	500,000	400,000	410,000	
	⑤	Twitterフォロワー数	人	13,682	14,459	14,521	15,600	16,500	16,800	
費用	事業費	予算額		千円	23,759	23,449	23,031		50,267	不用額
		決算額		千円	23,217	22,271	21,837		執行率	1,194
		財源内訳	一般財源		千円	23,217	22,271			21,837
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0			0
成果の説明	広報わこうの発行については、市内在住の若者をターゲットとした『wapica+』(令和2年12月号から掲載)の制作を行うこと、また、ショート動画の人気の高まりからYouTubeショートやTikTokの動画媒体を利用し、記事内容と関連した動画投稿を行うことで、これまで広報に対する関心が薄かった年齢層にも広報を手にとってもらえるよう工夫を行った。 市ホームページでは、重点的な周知が必要な項目については、トップページにバナーを掲載するなど、情報元へのアクセスの効率化を進めた。ホームページのアクセス数については令和3年度と比較すると減少となっている。新型コロナウイルス感染症に関する情報へのアクセスが減少したことが主な要因である。引き続きホームページ内の関心の高い情報へのアクセスを良くするとともに、TwitterやLINEで発信する際も、詳細情報のURLを掲載しホームページにアクセスしやすくし、アクセス数向上を図っていく。 Twitter及びLINEでは、継続的かつ積極的な発信を行うことで、市民に有力な行政情報・イベント情報の発信や、市のシティプロモーションへ繋げる工夫を行った。このことから、フォロワー数も徐々に増加している。									
	《広報わこう発行》 毎月1回、広報紙を発行し、市内の全世帯・全事業所に配布する。 規格:タブロイド版16ページ、フルカラー印刷									
	(1)広報わこう発行部数 5～9月号43,600部 10～2月号43,700部 3月号 43,800部 4月号 43,900部									
	(2)広報わこう配布部数(ポスティングによる全戸配布) 5月号42,583件 6月号42,595件 7月号42,657件 8月号42,661件 9月号42,661件 10月号42,659件 11月号42,660件 12月号42,659件 1月号42,668件 2月号42,667件 3月号42,817件 4月号43,058件									

3. 事業の課題

課題	ホームページについては、平成21年から現在のホームページを利用開始して以降、コンテンツ数が増加し、利用者が目的の情報に素早くたどり着けないなどの課題が生じている。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	ホームページについては、令和6年3月予定の新サイト公開に向け、令和5年度中に作業を進める。 広報わこうについては、令和4年度からYouTube及びTikTokの動画媒体を活用し、記事内容に関連した動画投稿を行っているが、引き続き実施し、広報わこうへの関心を高める取組みを行っていく。

事業名		シティプロモーション					事業コード	1008010	計画コード	12-5-3			
款	02	総務費			項	01	総務管理費			目	03	広報広聴費	
所属名(部局・課)		企画部				秘書広報課				担当名	広報広聴担当		
施策		12-5	効果的なシティプロモーションの展開										

1. 事業の概要

事業の対象	全国の一般の方
意図・目的	シティプロモーション活動を行い、市の知名度の向上及びイメージアップを図る。
活動概要	和光市応援大使を活用し、イベント等で和光市を広くPRする。また、市内事業者と協力し、和光市をPRする。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	応援団長(R3～応援大使)出演事業開催回数(市内外)	回	2	1	0	4	5	7	
	②	映画・ドラマ等撮影受け入れ回数	件	12	2	8	20	30	30	
	③	YouTube和光市チャンネル登録者数	人	893	1,405	1628	1500	1700	1800	
	④	TikTok和光市チャンネル登録者数(令和4年度新規指標)	人	0	0	102	100	150	200	
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	284	980	320		387	不用額
		決算額		千円	180	150	82		執行率	238
		財源内訳	一般財源		千円	80	150			82
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	100	0			0
成果の説明	平成27年度に開始した和光市応援団長事業は、令和3年度より「和光市応援大使」として実施し、市内外への浸透を図っている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染リスクを考慮し、イベント等の実施が難しいことから、令和4年度については実績がなかった。フィルムコミッションについては、平成31年1月からドラマやCM等の撮影について総合窓口化を図り、秘書広報課が窓口となり各課と調整し受け入れ態勢を充実してきたところである。令和4年度については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響により施設の貸出が難しい状況にあったことから、令和3年に引き続き件数が少なかったものの、誘致に繋がれた案件については、市ホームページでPRを行うことができた。YouTube和光市チャンネル登録者数については、継続して動画投稿を続け登録者数を伸ばし、令和4年度末時点において1,628人となっている。(前年度比 223人増) ショート動画人気の高まりから令和4年度からショート動画の配信に取り組んだ。YouTubeショートで配信するとともに、若者に人気のTikTokで和光市チャンネルを令和4年度開設。継続的な配信を行い、若者に市の魅力やイベント情報を届けていく。 その他令和4年10月からコミュニティエフエムのナナコライプリーエフエムと連携し、毎月第2月曜日に市政情報番組「ワクワクこうラジオ」の放送が開始となった。パーソナリティが広報わこうの気になる情報を発信するほか、広報わこうの特集企画と連動したゲストが出演し、イベント情報や市の事業に関する情報、和光市の魅力を届けている。放送回がYouTubeの同社のチャンネルにも配信されており、リアルタイムで聴き逃した方でもいつでも聴くことが可能である。									

3. 事業の課題

課題	イベントの実施が減ったことにより、応援大使の活用が難しいため、従来行ってきたイベント以外での方法によってシティプロモーションを行う必要がある。具体的には、SNSの活用や広報わこうの紙面の工夫など、市民に関心を持ってもらう情報発信が必要である。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	応援大使については、より効果的なプロモーションを行えるよう、イベント以外での活用方法を検討していく。YouTubeショートや、TikTokなど若者(～30代)が利用しているコンテンツへの情報発信も継続し、興味・関心を持ってもらうツールとして活用する。引き続きナナコライプリーエフエムと連携し、市政情報番組を通じて市の魅力発信に努める。

事業名		まちづくり基金積立					事業コード	1246004	計画コード	12-5-4				
款	12	諸支出金			項	01	基金費				目	04	寄附事業基金費	
所属名(部局・課)		総務部				総務人権課				担当名	庶務・人権担当			
施策		12-5	効果的なシティプロモーションの展開											

1. 事業の概要

事業の対象	まちづくり基金
意図・目的	収受した寄附金を適正に管理し、運用する。
活動概要	個人や団体から申し込みのあった寄附金を基金に積み立て、条例で規定する13事業に要する費用に充てるまで、適正に管理し、運用する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	基金積立額	世帯	12,983	8,534	10,627	11,004	12,004	12,003		
	②										
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	13,448	9,005	12,839		5	不用額	
		決算額		千円	12,983	8,534	10,627			2,212	
		財源内訳	一般財源		千円	0	0		0		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	12,983	8,534		10,627		82.8%
成果の説明	●寄附の事業内訳(R4.4～R4.9) 快適で暮らしやすいまちづくりのための事業(都市基盤)… 11件 自ら学び心豊かに創造性を育む街づくりのための事業(教育・文化・交流)… 16件 健やかに暮らしみんなで支えあうまちづくりのための事業(保険・福祉・医療)… 13件 安らぎとにぎわいある美しいまちづくりのための事業(生活・環境・産業)… 10件 市政を推進するための事業(市民参加・協働・連携)… 0件 その他市長が必要と認める事業… 14件 ●寄附の事業内訳(R4.10～R5.3) 「良好な生活環境が得られる」ための事業… 45件 「安全かつ快適に移動できる」ための事業… 4件 「身の回りの生活上の不安が軽減される」ための事業… 11件 「子どもが自己肯定感を持ち健やかに育つ」ための事業… 130件 「安心して妊娠・出産・子育てができる」ための事業… 37件 「高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる」ための事業… 15件 「誰もが自立した生活と社会参加ができる」ための事業… 6件 「健康に日々を暮らしている」ための事業… 2件 「いきいきと仕事を続けられる」ための事業… 2件 「趣味などを通して充実した時間を過ごせる」ための事業… 37件 「まちや人とつながり心豊かに過ごす」ための事業… 3件 「シビックプライドを持っている」ための事業… 3件 その他市長が必要と認める事業… 118件 ●令和4年度中に寄附金を活用し行った主な事業 カーブミラー等設置工事 ほんちよう保育園組立式プール購入 可搬式消防ポンプ(第2分団)購入										

3. 事業の課題

課題	和光市ならではの返礼品の新規追加と魅力ある事業により、市外在住者へ和光市の魅力を広く呼びかけていく必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	魅力ある返礼品などにより寄附者を引き付けることができる寄附制度を目指す。

事業名			市議会情報提供						事業コード		1002002		計画コード		12-5-5		
款	01	議会費				項	01	議会費				目	01	議会費			
所属名(部局・課)			議会事務局				議会事務局				担当名		議事調査担当				
施策			12-5		効果的なシティプロモーションの展開												

1. 事業の概要

事業の対象	市民、議員及び和光市の行政に関心のある人
意図・目的	市民などが市議会活動の見聞を通して、市政に関心を持つ。
活動概要	市議会の本会議や委員会等の会議録を作成して公開する。同時にインターネットによる会議録の閲覧、検索を可能にし、手軽に情報収集が出来るようにする。さらに、本会議のライブ中継と録画映像を配信する。また、年4回の定例会終了後、市議会だよりを発行して審議の概要と議会活動の状況を周知するとともに、市議会ホームページで議会の概要や活動を適宜周知する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	本会議録の市内閲覧場所	カ所	7	7	7	7	7	7		
	②	市議会だよりの発行部数(各回の平均)	部	43,450	43,408	43,683	44,500	44,500	44,500		
	③	本会議録検索システムのアクセス数	件	73,632	37,024	10,072	30,000	30,000	30,000		
	④	本会議・委員会の傍聴者数	人	260	448	436	400	450	450		
	⑤	インターネット本会議ライブ中継・録画配信アクセス	件	1,297	2,367	5,947	2,500	6,000	6,000		
費用	事業費	予算額		千円	11,313	11,364	12,230		11,447	不用額	
		決算額		千円	9,149	9,921	11,038			1,192	
		財源内訳	一般財源		千円	9,149	9,921			11,038	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0			0	90.3%
成果の説明	本会議の映像配信は、パソコンのみでの視聴対応から、平成30年6月にはタブレットでも視聴が可能となった。映像配信は、会議の翌日以降に速報版を、会議終了後おおむね5日目には録画配信を行うことができた。また、令和4年12月定例会から本会議ライブ中継を開始したことで、議会中継のアクセス数を大幅に増やすことができた。 市議会だよりは、写真を大きく掲載し、文章は簡潔にまとめるなど、レイアウトを工夫することで、視覚的にわかりやすく、読者に伝わりやすい紙面になるよう工夫した。定例会以外の活動を掲載することで、議員の様々な活動を伝えることができた。 乳幼児連れの傍聴者には気兼ねなく傍聴できるようモニター室を予め準備し、要望があれば案内できる体制を整えた。また、高齢者や体の不自由な方には手すりに近い席への案内、目の不自由な方にはイヤホンの貸与など、適切な対応に努めた。 新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、傍聴の際のマスクの着用、手指の消毒、人と人との距離の確保などの呼びかけを行った。また、毎年開催している議会報告会を対面開催したほか、YouTubeでも配信した。										
	1 開催状況										
	(1) 本会議		延べ日数(日)	延べ傍聴者数(人)		会議録冊数(冊)					
	定例会(招集 年4回)・臨時会		32	410		128(4回×32)					
	(2) 委員会等		延べ回数(回)	延べ付託議案等件数(件)		行政視察(日)	記録冊数(内委託分)				
	総務環境常任委員会		11	38		2	44(44)				
	文教厚生常任委員会		10	31		2	40(40)				
	議会運営委員会		21				84(36)				
	全員協議会		7				28(16)				
	特別委員会		3				12(4)				
	計		52				208(140)				
	【続きあり】										

3. 事業の課題

課題	本会議のライブ中継と録画配信、会議録検索システムのアクセス数の増加、また、定例会及び委員会等の傍聴者数の増加に取り組んでいくとともに、市議会ホームページの改善、市議会だよりの充実、議会報告会の開催など、市民等に向けて議会の審議内容や活動状況に関する情報を積極的に発信し、もっと議会に関心に向けてもらえるような取組を行っていくことが必要。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	市議会本会議や各委員会等の記録は、市議会ホームページで公開している。また、令和4年12月定例会から本会議のライブ中継を開始し、引き続き録画配信も行っている。今後も引き続き迅速な情報公開を行い、市民等に対し議会活動についての情報を発信していく。

2 議案等審議結果(件)

	原案可決	認定	承認	同意	適任	否決
市長提出議案	68	7	5	5	2	1

	原案可決				否決			
	議案	意見書案	決議案		議案	意見書案	決議案	
議員提出議案	2	2	—	—	—	—	—	—

	請願 1				陳情 5			
	採択	趣旨採択	不採択	継続審査	採択	趣旨採択	不採択	継続審査
請願・陳情 (本会議審議)	—	—	1	—	3	—	2	—

3 アクセス件数及び発行部数

	件・部数		備考
会議録閲覧・検索システム	10,072		会議録の配付と併せて公開
本会議ライブ中継	5,947	3,429	本会議開催中の映像を字幕付きで配信
本会議録画配信		2,518	本会議の翌日から起算して5日以降に配信
市議会だより	174,732		5・8・11・2月号 43,683部

※市議会だよりは広報わこう特集ページに位置づけ。(費用は款2項1目3広報わこう作成業務委託料に含む。)
別途、市民団体に依頼し朗読したCDを作成。朗読した音声は声の市議会だよりとして市議会ホームページで視聴が可能。

4 議会報告会 年3回

日時	令和4年5月20日 オンライン配信	令和4年8月20日	令和4年11月5日
場所	和光市公式YouTubeチャンネル	和光市中央公民館会議室1	和光市役所議事堂1階
来場者数	—	32名	22名
主な内容	市議会議員が3月定例会で審議した令和4年度予算について、審査の概要やポイントを説明。	元和光市職員の不幸事に関する調査特別委員会の元委員が、調査結果の概要を項目ごとに説明し、元委員長から委員会としてのまとめを報告。報告会の内容は、令和4年8月31日に和光市公式YouTubeチャンネルでオンライン配信を行った。	市議会議員が9月定例会で審議した令和3年度決算について、審査の概要やポイントを説明。また、市民との意見交換会を実施。報告会の内容は、令和4年12月28日に和光市公式YouTubeチャンネルでオンライン配信を行った。